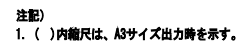


位置図 S=1/750(1/1500)

位置図 S=1/750(1/1500)



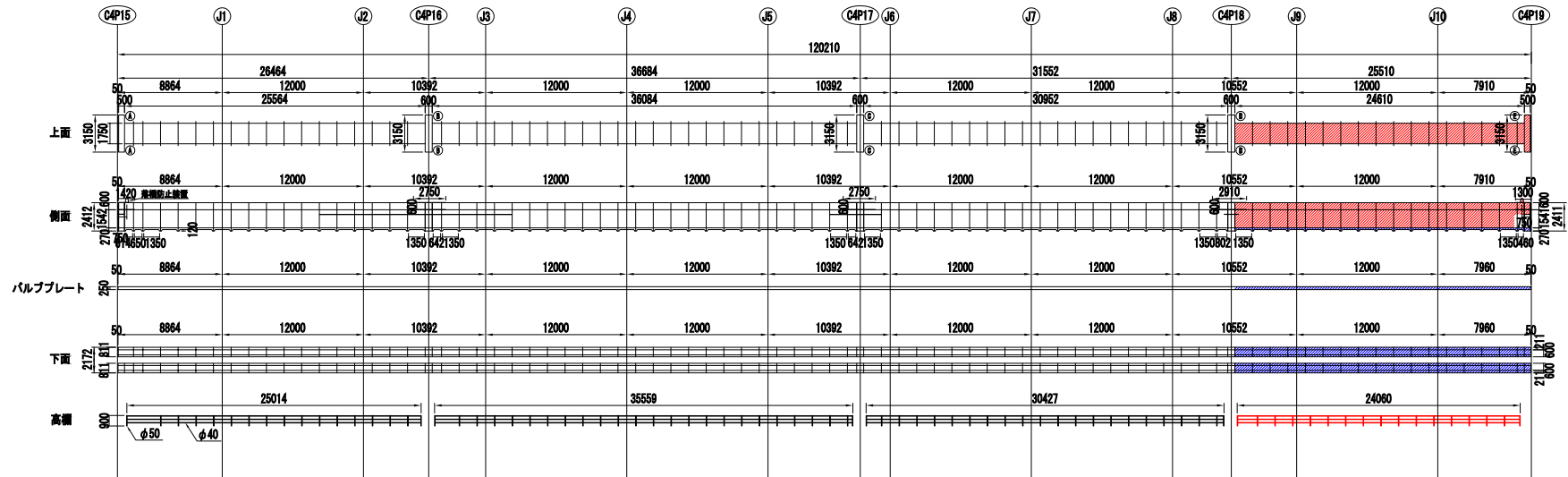
上部工塗替塗装工図-1

(軌道桁 C4G7D)

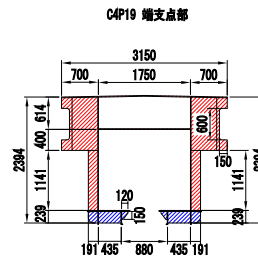
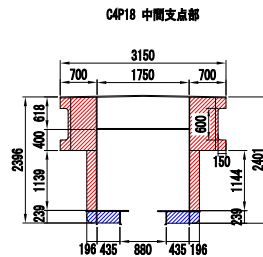
C4G7D S=1/150(1/300)

千葉側

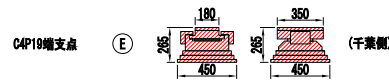
千城台側



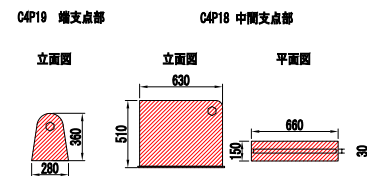
断面図 S=1/50(1/100)



支承 S=1/20(1/40)



落橋防止装置 S=1/20(1/40)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

注記

- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整剤は、割合13%とし、錆部にのみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
- 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ整備部工務課

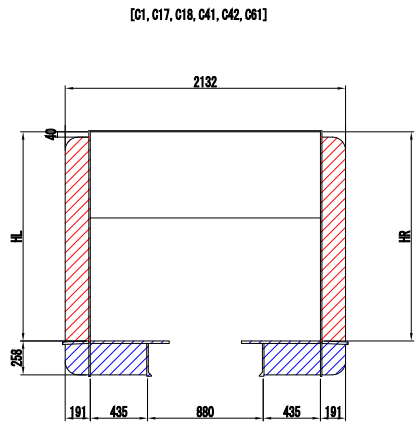
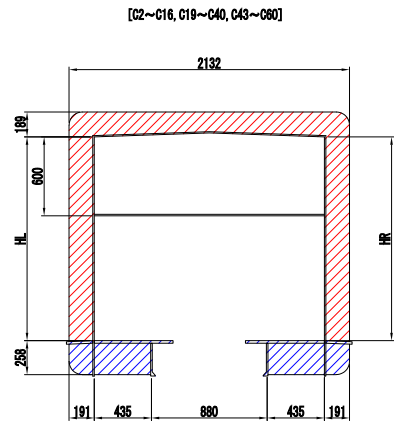
上部工塗替塗装工図-1

図示

2

上部工塗替塗装工図-2
(軌道桁 C467D②)

補剛リブ S=1/20 (1/40)



格点	HL	HR
C1~C2	2142	2139
C3~C4	2141	2139
C5~C7	2141	2140
C8~C11	2140	2140
C12	2139	2142
C13	2138	2144
C14	2137	2145
C15	2136	2147
C16	2136	2149
C17	2135	2151
C18	2133	2154
C19	2132	2156
C20	2131	2157
C21	2130	2159
C22	2130	2161
C23	2129	2162
C24	2128	2164
C25	2127	2166
C26	2126	2168

格点	HL	HR
C27	2125	2169
C28	2124	2171
C29	2124	2173
C30	2123	2174
C31	2122	2176
C32	2121	2178
C33	2120	2180
C34	2119	2181
C35	2118	2183
C36	2118	2185
C37~C38	2117	2186
C39	2118	2184
C40	2119	2182
C41	2120	2180
C42	2121	2177
C43	2122	2175
C44	2123	2174
C45	2124	2172
C46	2125	2170

格点	HL	HR
C47	2126	2169
C48	2127	2167
C49	2127	2165
C50	2128	2163
C51	2129	2162
C52	2130	2160
C53	2131	2158
C54	2132	2157
C55	2133	2155
C56	2133	2153
C57	2134	2152
C58	2135	2150
C59	2136	2148
C60	2137	2146
C61	2138	2145

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間~3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
1日~10日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日~10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日~10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日~10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地検査に基づきものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にはのみ使用する。なお、支梁及び添接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支梁全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

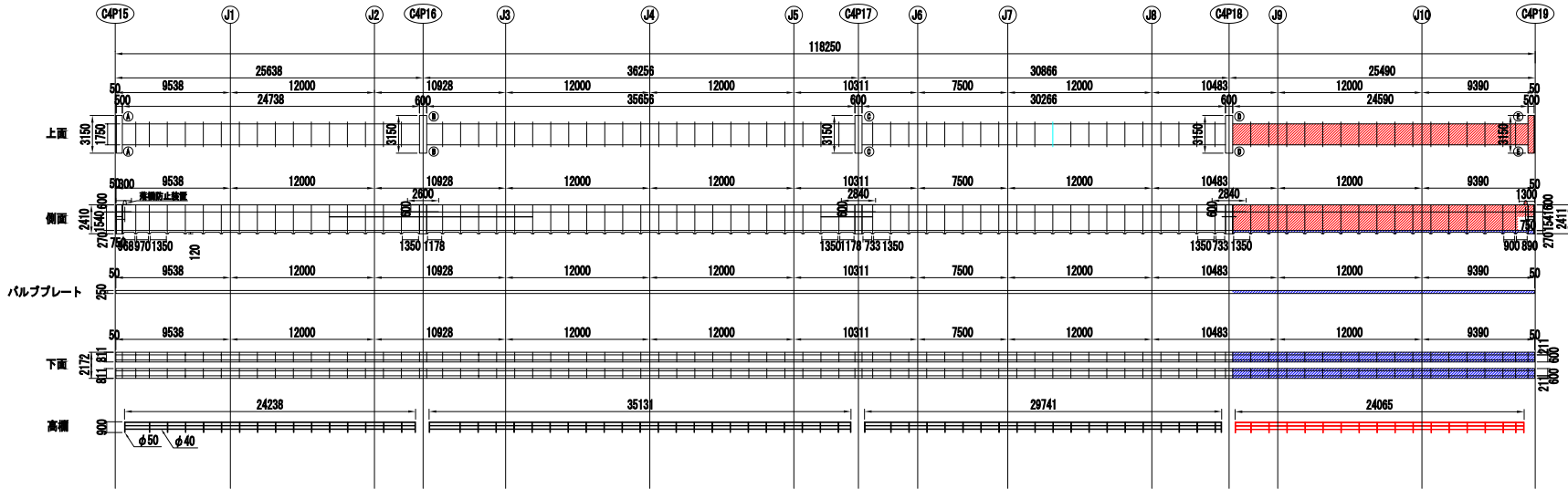
上部工塗替塗装工図-3

(軌道桁 C4G7U)

C4G7U S=1/150(1/300)

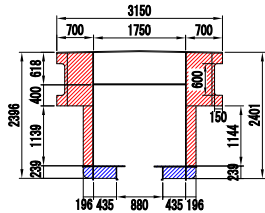
千葉側

千城台側

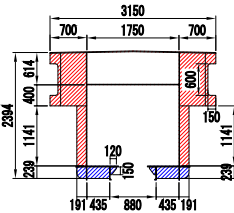


断面図 S=1/50(1/100)

C4P18 中間支点部

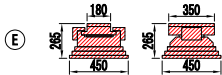


C4P19 端支点部



支承 S=1/20(1/40)

C4P19端支点



(千葉側)

落橋防止装置 S=1/20(1/40)

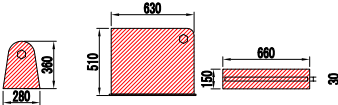
C4P19 端支点部

C4P18 中間支点部

立面図

立面図

平面図



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4種
3時間～3日	補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
1日～10日	下塗1層目	耐離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	下塗2層目	耐離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

注記)

- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整経減剤は、割合13%とし、割合にのみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整経減剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
- 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

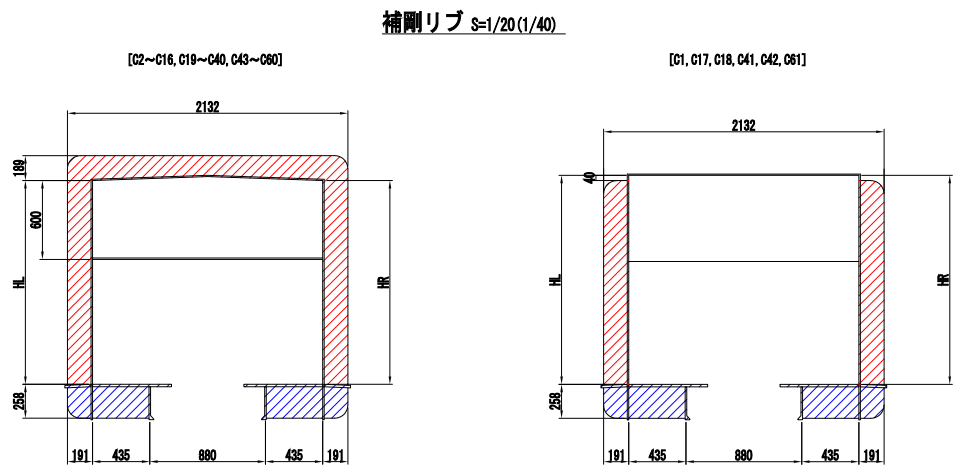
千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ部塗装工務課 (工務)

上部工塗替塗装工図-3

4

上部工塗替塗装工図-4
(軌道桁 C467U②)



格点	HL	HR
C1~C2	2142	2139
C3~C4	2141	2139
C5~C7	2141	2140
C8~C11	2140	2140
C12	2139	2142
C13	2138	2144
C14	2137	2145
C15	2136	2147
C16	2136	2149
C17	2135	2151
C18	2133	2154
C19	2132	2156
C20	2131	2157
C21	2130	2159
C22	2130	2161
C23	2129	2162
C24	2128	2164
C25	2127	2166
C26	2126	2168

格点	HL	HR
C27	2125	2169
C28	2124	2171
C29	2124	2173
C30	2123	2174
C31	2122	2176
C32	2121	2178
C33	2120	2180
C34	2119	2181
C35	2118	2183
C36	2118	2185
C37~C38	2117	2186
C39	2118	2184
C40	2119	2182
C41	2120	2180
C42	2121	2177
C43	2122	2175
C44	2123	2174
C45	2124	2172
C46	2125	2170

格点	HL	HR
C47	2126	2169
C48	2127	2167
C49	2127	2165
C50	2128	2163
C51	2129	2162
C52	2130	2160
C53	2131	2158
C54	2132	2157
C55	2133	2155
C56	2133	2153
C57	2134	2152
C58	2135	2150
C59	2136	2148
C60	2137	2146
C61	2138	2145

塗装仕様（一般部）

4時間以内	素地調整	4種
3時間~3日	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、ロー
1日~10日	下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日~10日	下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、ロー
1日~10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、ロー
1日~10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、ロー

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場施工）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地検査に基づきものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にはのみ使用する。なお、支梁及び亜接板について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整軽減剤を支梁全面、亜接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されてある水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をする。

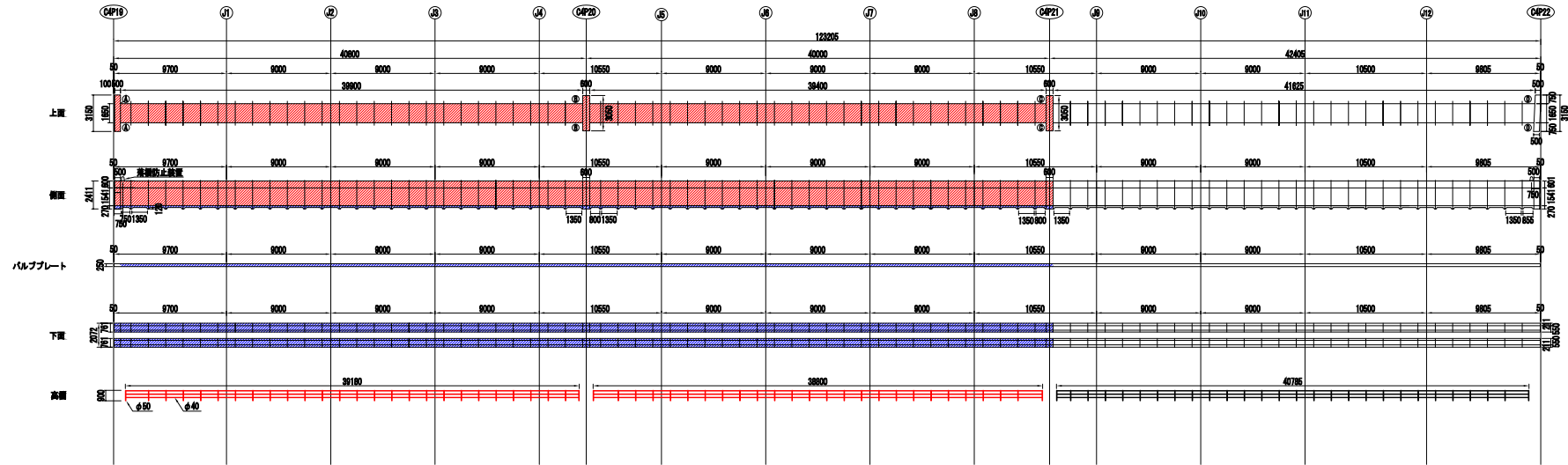
上部工塗替塗装工図-6

(軌道橋 C4G8U)

C4G8U S=1/150(1/300)

千葉側

千城台側



断面図 S=1/50(1/100)

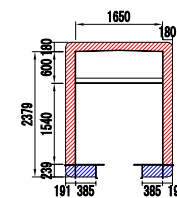
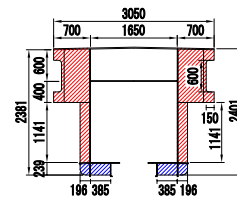
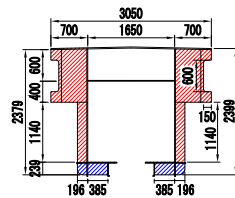
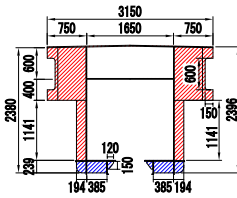
補剛リブ S=1/50(1/100)

塗装仕様 (一般部)

C4P19 端支点部

C4P20 中間支点部

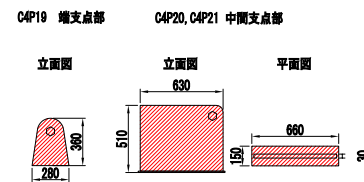
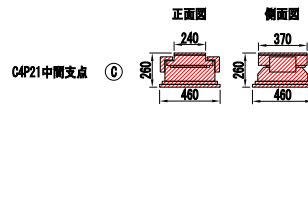
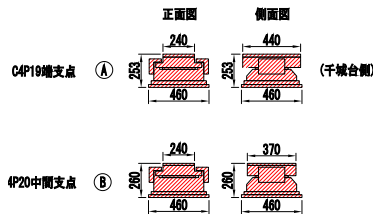
C4P21 中間支点部



素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

支承 S=1/20(1/40)

落橋防止装置 S=1/20(1/40)



表示	塗装仕様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場施工)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)

- 注記
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整剤は、前部13%とし、前部にのみ使用する。なお、支承、添接板、桁端部及びボルト部について全体的に腐食が確認されていることから、素地調整剤を支承全面、添接板全面と周囲100mmにかけて塗布すること。
 - 塗装開閉は、気温20℃の場合について記載する。
 - 高欄等において腐食孔が確認された場合、防水テープにて補修後、塗装すること。また、欠損箇所について監督員に報告すること。
 - 軌道桁端部に設置されている水抜き孔において、詰まりや漏水が確認されていた場合は、番線等にて水抜き孔の処置をすること。

千葉都市モノレール株式会社

千葉都市モノレールインフラ整備部橋梁工務課

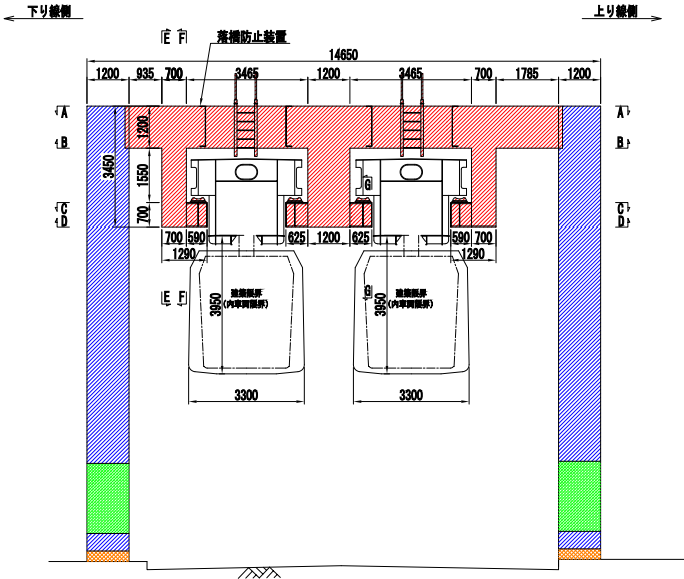
上部工塗替塗装工図-6

図示

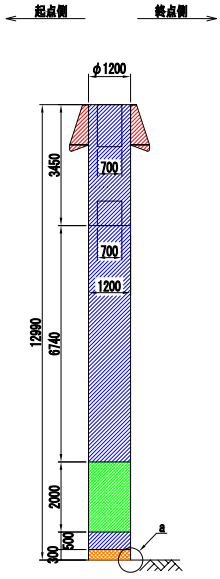
7

下部工塗替塗装工図-1
(支柱 C4P19①)

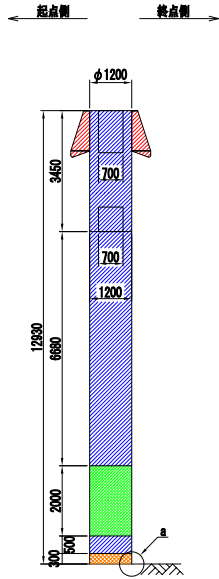
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗

塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗1層目
1日～10日	下塗2層目
1日～10日	中塗
1日～10日	上塗
2日～7日	クリアー

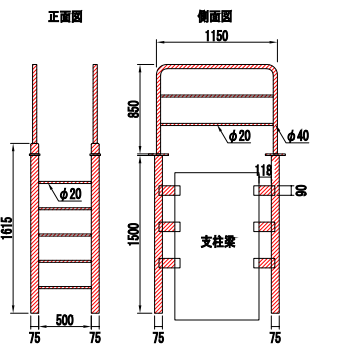
塗装仕様 (基部)

素地調整	4種
4時間以内	補修塗
3時間～3日	下塗
直ちに～7日	上塗

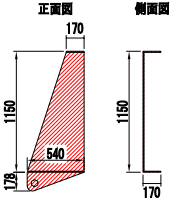
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
[Red hatched]	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
[Blue hatched]	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
[Green hatched]	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
[Orange hatched]	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

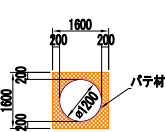
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



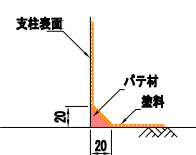
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)

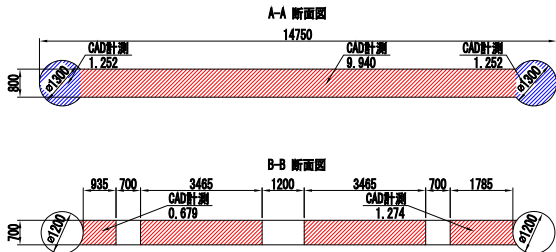


- 注記)
- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、銷部13%とし、銷部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道柵・支柱と同色)
 - ・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

下部工塗替塗装工図-2

(支柱 C4P19②)

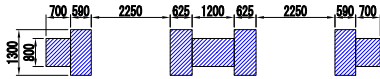
断面図 S=1/75 (1/150)



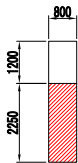
C-C 断面図



D-D 断面図



E-E 断面図



F-F 断面図



G-G 断面図



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4層
4時間以内	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (落書き防止)

4時間以内	素地調整	4層
4時間以内	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	中塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-テ
1日～10日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-テ
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-テ

塗装仕様 (基部)

4時間以内	素地調整	4層
4時間以内	補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m ² (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、R-テ
3時間～7日	上塗	潤滑剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、はけ、R-テ

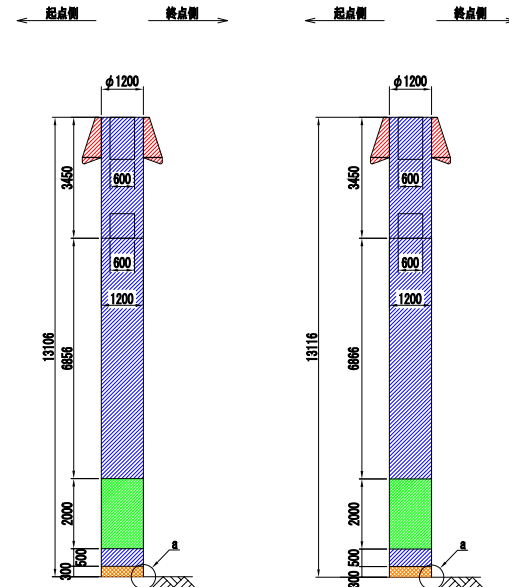
凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

- 注記)
- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - ・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

(支柱 C4P20①)

側面図(上り線側) S=1/75(1/150)



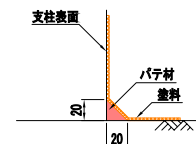
4時間以内	素地調査	4種
	補修塗	素地調査後塗剂 100g/㎡、はけ、ロー
3時間～3日	下塗1層目	樹脂硬化型調湿防湿性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/㎡、60μ/層、はけ、ロー
	下塗2層目	樹脂硬化型調湿防湿性エポキシ樹脂塗料（赤褐色） 200g/㎡、60μ/層、はけ、ロー
1日～10日	中塗	調湿防湿ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/㎡、30μ/層、はけ、ロー
	上塗	調湿防湿ふっ素樹脂塗料用上塗（3.8 7.5/1） 100g/㎡、25μ/層、はけ、ロー

	素地調整	4種
4時間以内		
	補修塗	素地調整兼減粘剤 100g/m ² 、はけ、ロテ
3時間～3日		
	下塗1層目	耐塩腐食型陽極性溶剤性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/固、はけ、ロテ
1日～10日		
	下塗2層目	耐塩腐食型陽極性溶剤性エポキシ樹脂塗料（赤褐色） 200g/m ² 、60μ/固、はけ、ロテ
1日～10日		
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/固、はけ、ロテ
1日～10日		
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/固、はけ、ロテ
2日～7日		
	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/固、はけ、ロテ

	床面調査	4種
4時間以内	補修塗	床面調査補修剤 100g/m ² 、はけ、ロー
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂/パテ 300g/m ² (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、ロー
3時間～7日	上塗	調湿消臭ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、はけ、ロー

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場作業）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
	塗装範囲（夜間施工・落着き防止・高車作業）
	塗装範囲（昼間施工・基部・地上作業）

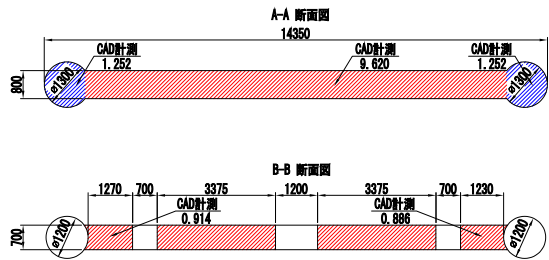
a部詳細図 $S=1/2.5(1/5)$



1. ()内縦尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 施工にあたっては、現地に計測を行った上で形状寸法を確認すること。
3. 図中の構造物等は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督官の了承を得た上で行うこと。
4. 素地調整率減割は、前部13%とし、前部にのみ使用する。
5. 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
6. 支柱に貼付される番号表示、標識類等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
7. 支柱表示対策工法の塗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯：3.8Y 7.5/1 (軌道赤・土色と同色)
 - ・歩道帯・擁壁部：色見本にて現地合致した類似色 (監督官の承認が必要)

下部工塗替塗装工図-4
(支柱 C4P20②)

断面図 S=1/75 (1/150)



塗装仕様（一般部）

素地調整	4層
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-7

塗装仕様（落書き防止）

素地調整	4層
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
下塗1層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（グレー） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
下塗2層目	剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料（赤錆色） 200g/m ² 、60μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗（白） 140g/m ² 、30μ/回、はけ、R-7
1日～10日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、25μ/回、はけ、R-7
2日～7日	
クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、R-7

塗装仕様（基部）

素地調整	4層
4時間以内	
補修塗	素地調整軽減剤 100g/m ² 、はけ、R-7
3時間～3日	
パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m（鋼/コンクリート接合部のみ）
直ちに～7日	
下塗	流紋型厚膜形エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、R-7
3時間～7日	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗（3.8Y 7.5/1） 120g/m ² 、はけ、R-7

凡 例

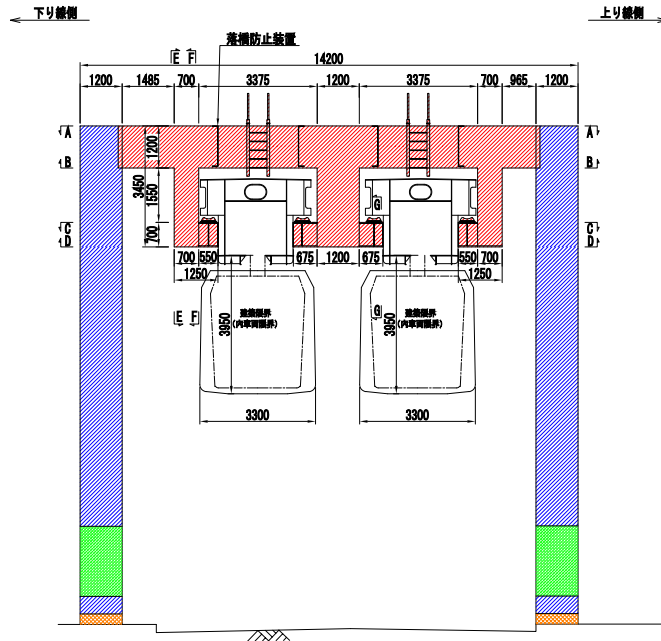
表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲（昼間施工・一般部・足場作業）
	塗装範囲（夜間施工・一般部・高車作業）
	塗装範囲（夜間施工・落書き防止・高車作業）
	塗装範囲（昼間施工・基部・地上作業）

- 注記）
- （ ）内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地で計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
 - 素地調整軽減剤は、錆色13%とし、錆部にのみ使用する。
 - 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
 - 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
 - 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯：3.8Y 7.5/1（軌道桁・支柱と同色）
 - ・歩道部・擁壁部：色見本にて現地合せした類似色（監督員の承認が必要）

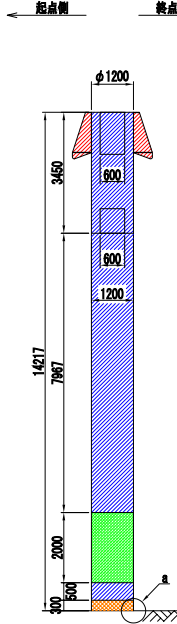
下部工塗替塗装工図-5

(支柱 C4P21①)

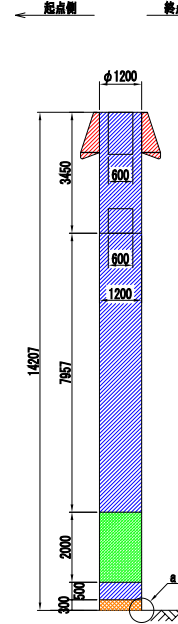
正面図 S=1/75 (1/150)



側面図(下り線側) S=1/75 (1/150)



側面図(上り線側) S=1/75 (1/150)



塗装仕様 (一般部)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗

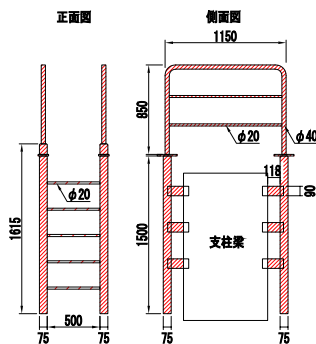
塗装仕様 (落書き防止)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	下塗1層目
1日~10日	下塗2層目
1日~10日	中塗
1日~10日	上塗
2日~7日	クリアー

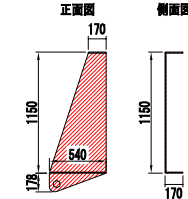
塗装仕様 (基部)

素地調整	4層
4時間以内	補修塗
3時間~3日	パテ処理
直ちに~7日	下塗
3時間~7日	上塗

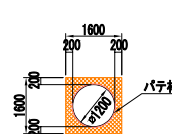
支柱乗越え梯子 S=1/25 (1/50)



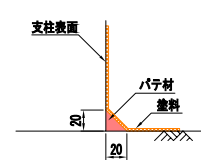
落橋防止装置 S=1/25 (1/50)



支柱基部 平面図 S=1/75 (1/150)



a部詳細図 S=1/2.5 (1/5)



注記

- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地調査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況をも十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整軽減剤は、削部13%とし、削部にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識等については、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道桁・支柱と同色)
 - ・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

千葉都市モノレール株式会社

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

図例

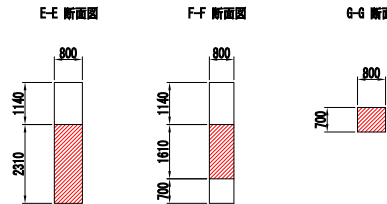
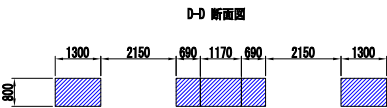
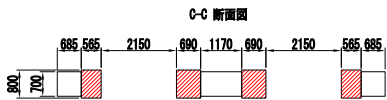
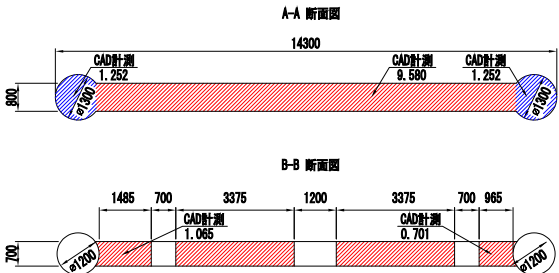
図例

図例

下部工塗替塗装工図-6

(支柱 C4P21②)

断面図 S=1/75(1/150)



塗装仕様 (一般部)

4時間以内	素地調整	4種
4時間以内	補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、H-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、H-テ

塗装仕様 (落書き防止)

4時間以内	素地調整	4種
4時間以内	補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、H-テ
3時間～3日	下塗1層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (グレー) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	下塗2層目	剥離抑制型潤滑剤変性エポキシ樹脂塗料 (赤錆色) 200g/m ² 、60μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (白) 140g/m ² 、30μ/回、はけ、H-テ
1日～10日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、25μ/回、はけ、H-テ
2日～7日	クリアー	特殊シリコン変性ふっ素樹脂クリアー 80g/m ² 、15μ/回、はけ、H-テ

塗装仕様 (基部)

4時間以内	素地調整	4種
4時間以内	補修塗	素地調整経減剤 100g/m ² 、はけ、H-テ
3時間～3日	パテ処理	柔軟型エポキシ樹脂パテ 300g/m (鋼/コンクリート接合部のみ)
直ちに～7日	下塗	速乾型厚膜型エポキシ樹脂塗料 1000g/m ² 、はけ、H-テ
3時間～7日	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (3.8Y 7.5/1) 120g/m ² 、はけ、H-テ

凡 例

表 示	塗 装 仕 様
	塗装範囲 (昼間施工・一般部・足場作業)
	塗装範囲 (夜間施工・一般部・高車作業)
	塗装範囲 (夜間施工・落書き防止・高車作業)
	塗装範囲 (昼間施工・基部・地上作業)

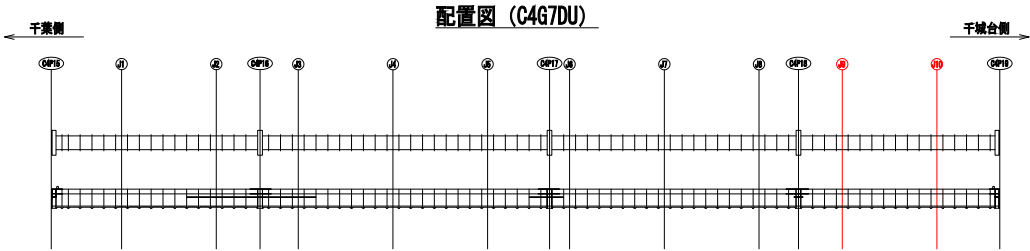
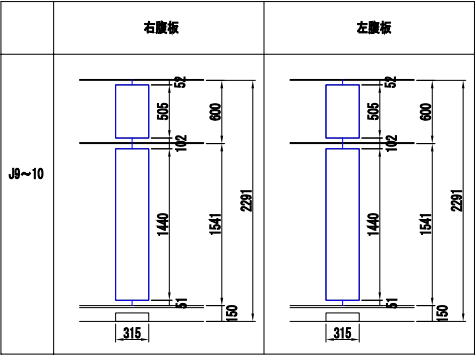
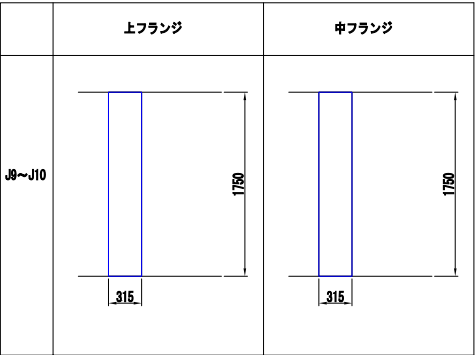
注記)

- () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 施工にあたっては、現地に於いて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
- 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。
- 素地調整経減剤は、錆部13%とし、錆部にのみ使用する。
- 塗装間隔は、気温20℃の場合について記載する。
- 支柱に貼付されている番号表示、標識等について、塗装後に新しいものを貼付すること。
- 支柱基部対策工法の舗装上の塗装色については、下記塗装色とすること。
 - ・中央分離帯 : 3.8Y 7.5/1 (軌道柵・支柱と同色)
 - ・歩道部・擁壁部 : 色見本にて現地合せした類似色 (監督員の承認が必要)

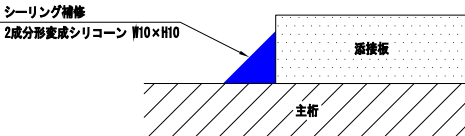
シーリング補修工図-1

(軌道桁 添接板)

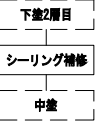
添接板 (C4G7DU) S=1/25 (1/50)



シーリング補修 詳細図



施工フロー



凡 例

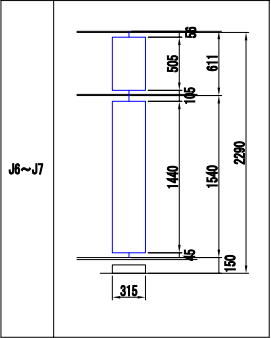
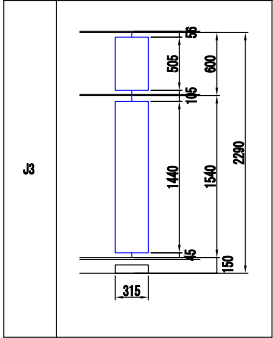
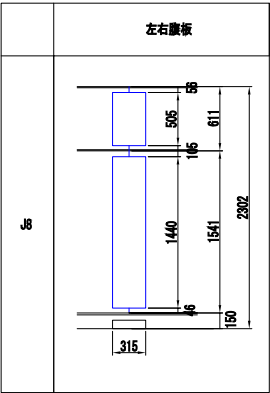
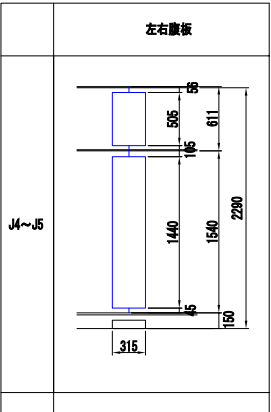
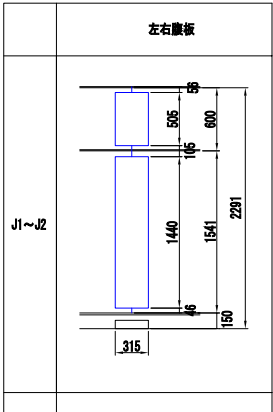
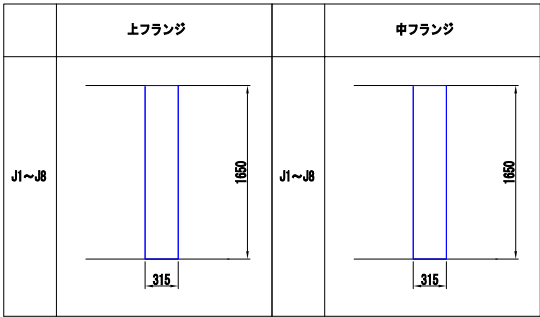
表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分形変成シリコン W10×H10)

- 注記)
- ①内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地に於て計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

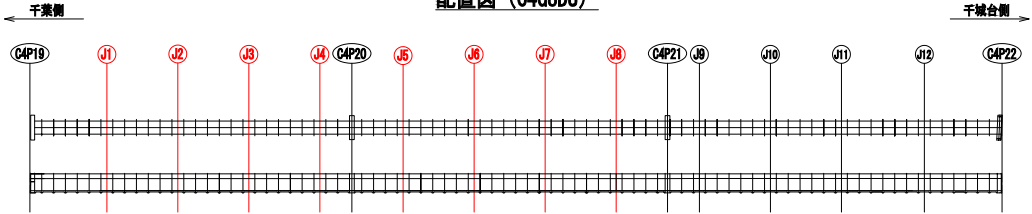
シーリング補修工図-2

(軌道桁 添接板)

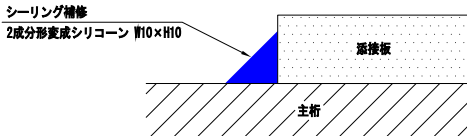
添接板 (C4G8DU) S=1/25 (1/50)



配置図 (C4G8DU)



シーリング補修 詳細図



施工フロー

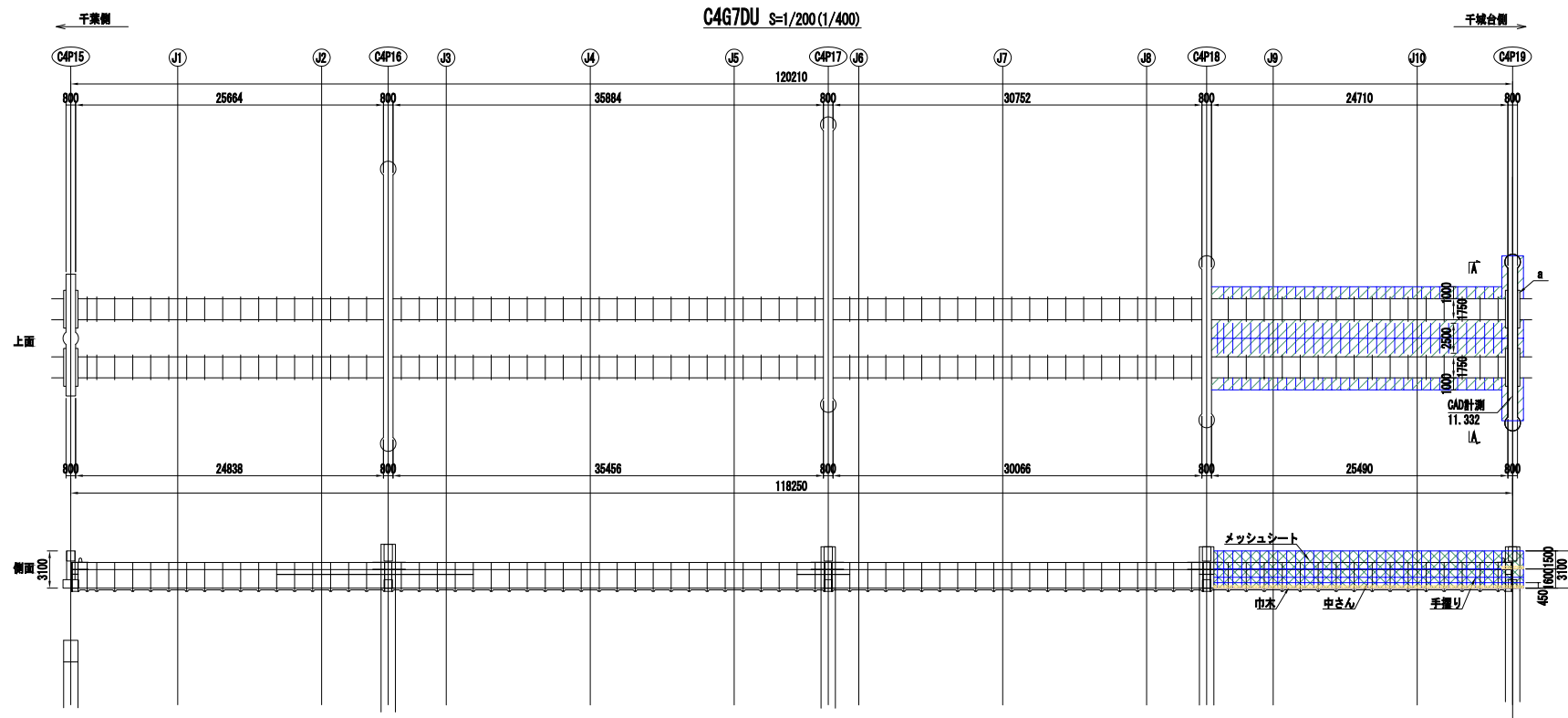


凡 例

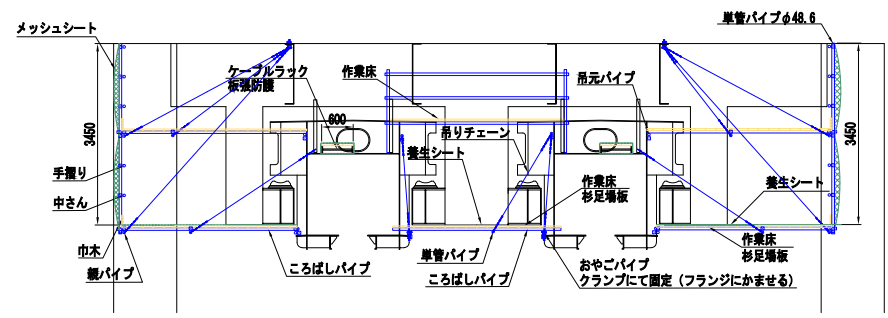
表 示	塗 装 仕 様
	シーリング補修 (2成分変成シリコン W10×H10)

- 注記)
- ① 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
 - 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で形状寸法を確認すること。
 - 図中の補修計画は、既存点検データ及び現地踏査に基づくものであり、施工に際しては、現地状況を十分把握し、併せて監督員の了承を得た上で行うこと。

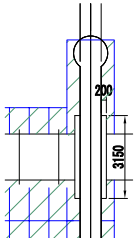
足場仮設計画図-1
(軌道桁 C4G7DU)



断面図 S=1/50 (1/100)
A-A 断面図



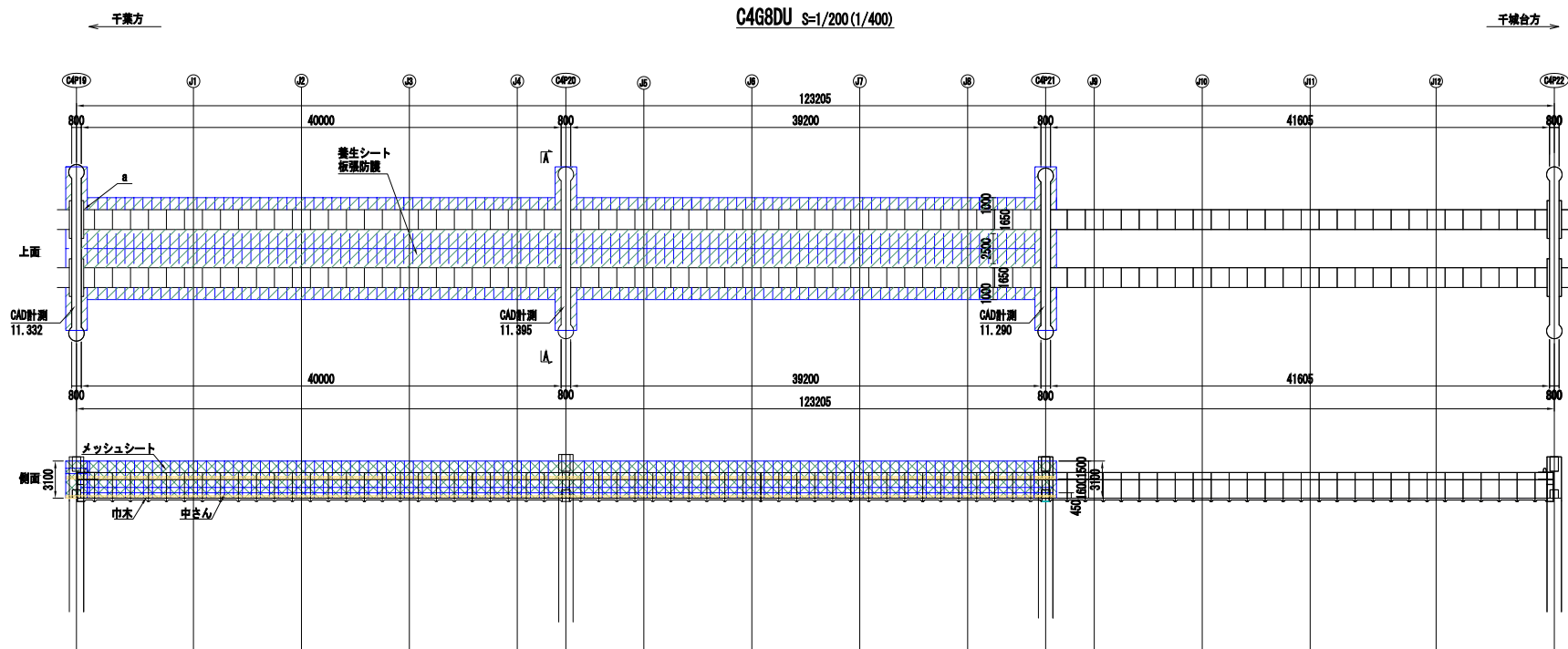
a部詳細図 S=1/100 (1/200)



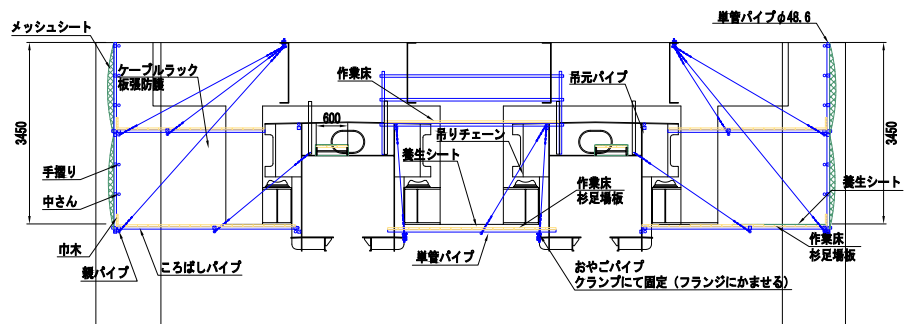
注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

千葉都市モノレール株式会社				管理	図面	図名	工事名称	千葉都市モノレールインフラ整備推進工事業(工区)	図面番号	足場仮設計画図-1	備考	図示	備考
							工事内容						参考図-1

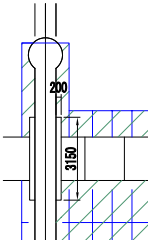
足場仮設計画図-2
(軌道桁 C4G8DU)



断面図 S=1/50 (1/100)
A-A 断面図



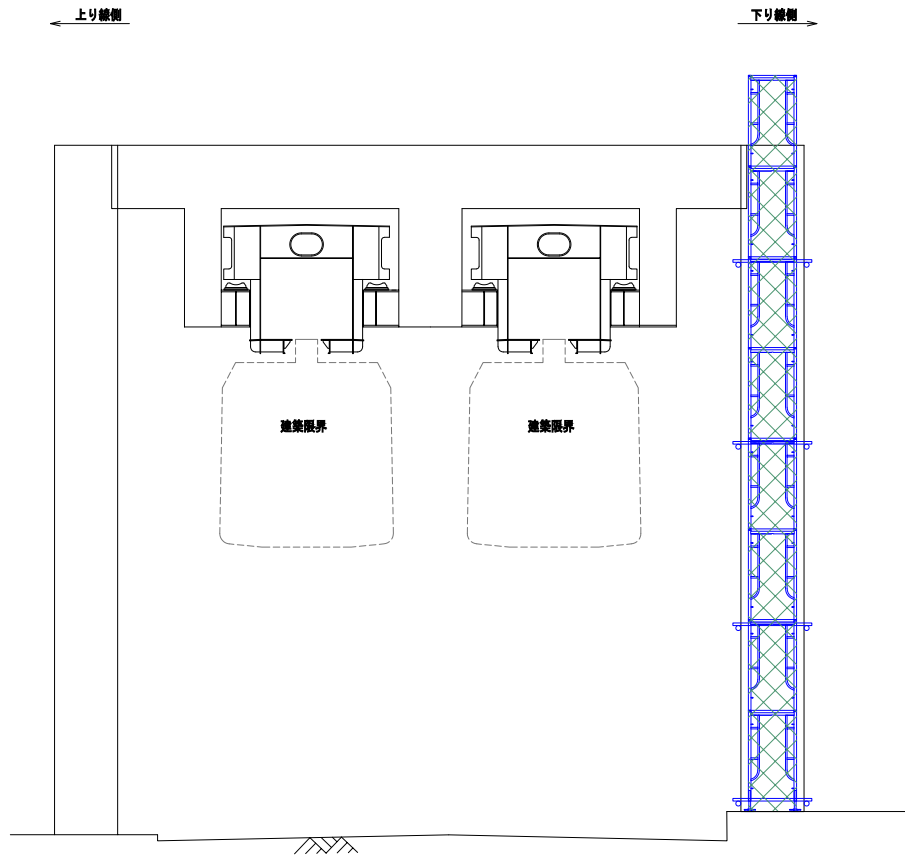
a部詳細図 S=1/100 (1/200)



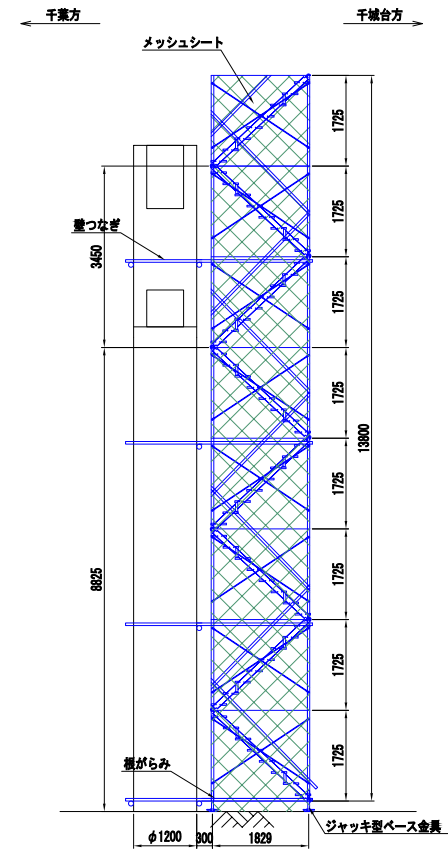
注記
1. () 内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考とするともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

足場仮設計画図-3
(支柱 C4P20)

正面图 S=1/50 (1/100)



側面図(下り線側) s=1/50(1/100)

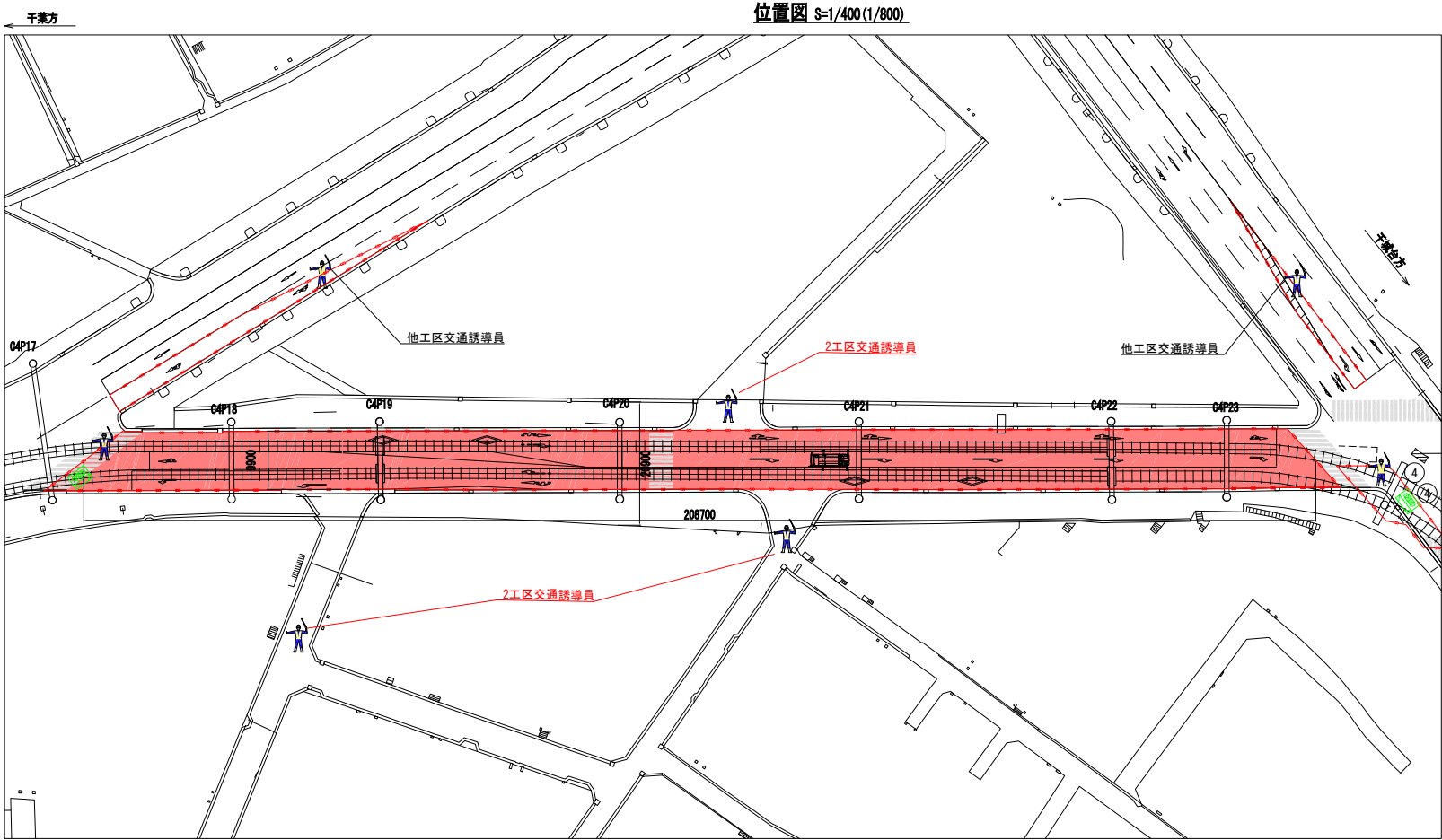


(注記)

1. ()内幅尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、足場仮設計画図を参考するとともに、施工条件、地質条件等を十分考慮した上で、足場構造、施工方法、及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手順について受注者の責任において定めるものとする。
3. 足場は、建築関係に支障しない範囲で仮設すること。

目 次				千葉都市モノレール株式会社		管	線	線	工事名称	千葉都市モノレールインフラ整備推進工事業 (2工区)	図面名称	足場仮設計画図-3	表 紙	図 示	参 考 図-3
									工事内容						

交通規制図①<参考図>
(2工区)



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
×	バリケード
人	交通誘導員
車	標識車又は大型電光式工事標識板
→	車両進行方向

注記)
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

(2工区)

千葉方



- | | |
|---|----------------------|
| ① | 工事中表示板 |
| ② | 工事件名表示板 |
| ③ | 工事予告表示板 50, 100, 200 |
| ④ | 矢印板 |
| ⑤ | 速度落とせ標識板 |
| ⑥ | 車輪減少標識板 |
| ⑦ | 黄色回転灯 |
| ○ | セーフティコーン |
| バリアード | |
|  | 交通誘導員 |
|  | 標識車又は大型電光式工事標示板 |
|  | 車両進行方向 |

1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

(2工区)

千葉方



- | | |
|---|----------------------|
| ① | 工事中表示板 |
| ② | 工事件名表示板 |
| ③ | 工事予告表示板 50, 100, 200 |
| ④ | 矢印板 |
| ⑤ | 速度落とせ標識板 |
| ⑥ | 車輪減少標識板 |
| ⑦ | 黄色回転灯 |
| ○ | セーフティコーン |
| バリアード | |
|  | 交通誘導員 |
|  | 標識車又は大型電光式工事標示板 |
|  | 車両進行方向 |

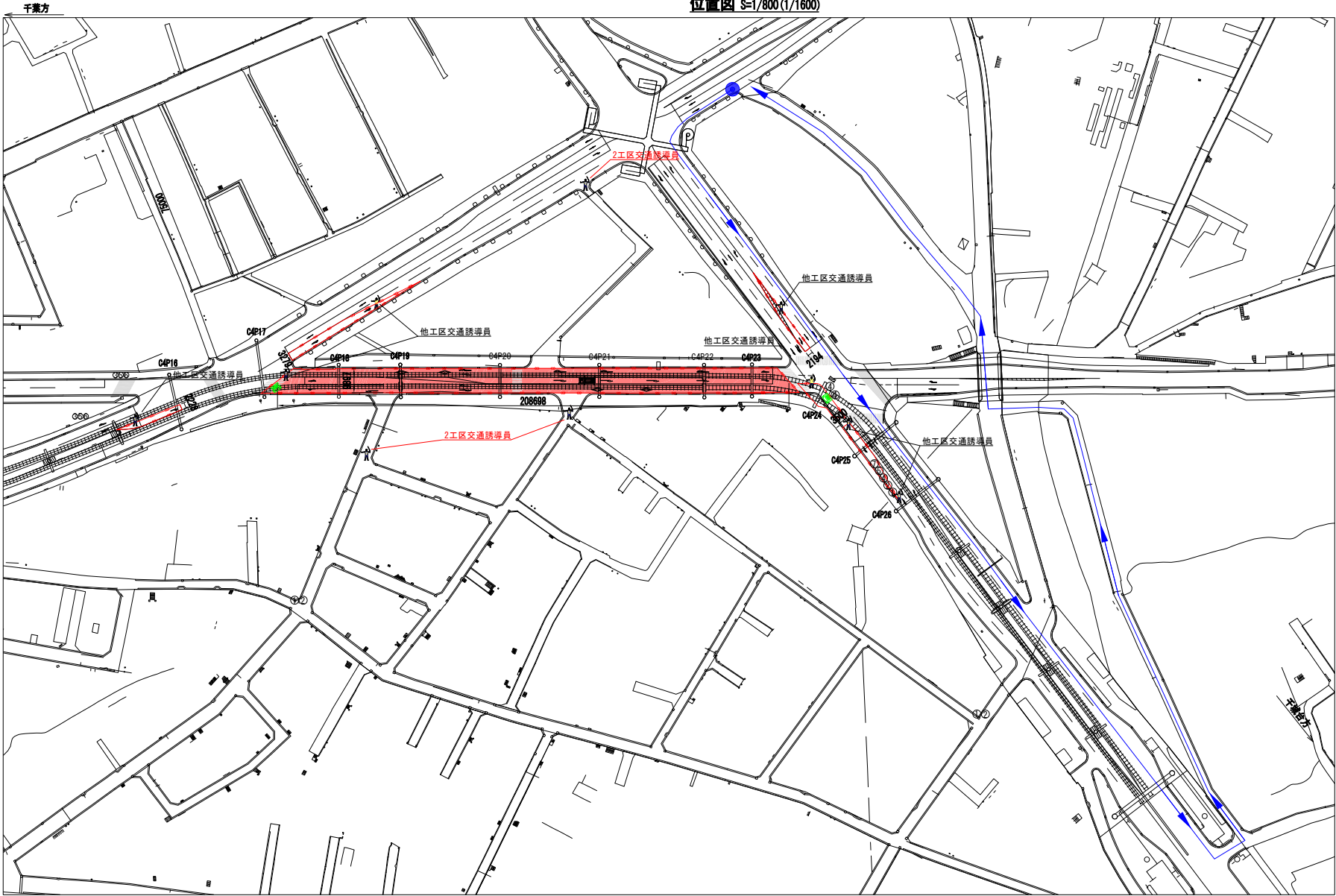
1. ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。

2. 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

交通規制図④<参考図>

(2工区)

位置図 S=1/800(1/1600)



<凡例>

①	工事中表示板
②	工事件名表示板
③	工事予告表示板 50, 100, 200
④	矢印板
⑤	速度落とせ標識板
⑥	車線減少標識板
⑦	黄色回転灯
○	セーフティコーン
×	バリケード
人	交通誘導員
車	標識車又は大型電光式工事標示板
→	車両進行方向

注記)

- ()内縮尺は、A3サイズ出力時を示す。
- 受注者は、交通規制図を参考とするとともに、施工条件、交通状況等を十分考慮した上で、交通規制方法等一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。